

オンライン

第11回 パソコン文字通訳シンポジウム

当事者が語るウィズコロナ時代の情報保障

コロナ禍で集まることができない日々が続いています。何かというリモートで、オンラインで、ということが増えています。感染の危機が去ってもこのオンライン化の波は止まらないでしょう。その中で聞こえない人が取り残されないようにするためにはどうしたらいいのでしょうか？

情報保障についてはさまざまな方法が既実践されていますが、制度がそれに追いついていないなど、多くの課題があります。ウィズコロナ時代、ポストコロナ時代の情報保障はどうあるべきか。今こそ障害当事者が声を上げる時です。そこで各分野でご活躍の障害当事者と一緒に考えます。

完全オンラインでの開催ですが、初心者向けのやさしい解説もあります。お気軽にご参加ください。

日時 2021年1月11日(月・祝)
13:00~16:50 (開場12:30)

会場 オンライン(ZoomウェビナーとYouTubeライブ配信)
※終了後、YouTubeで1週間アーカイブ配信も行います

プログラム

- 初歩講座「聞こえない人と聞こえる人が一緒に参加するオンラインミーティング」
- 基調講演「話しことばと書きことばの違いから支援を考える」
中野聡子氏 (群馬大学共同教育学部/日本財団助成事業手話サポーター養成プロジェクト室 准教授)
- パネルディスカッション「私たちが求めるオンライン情報保障」
宇田二三子氏 (大阪市難聴者・中途失聴者協会 前理事長/大阪市要約筆記事業(養成・派遣)統括)
宮田はるみ氏 (みみより会事務局長)
村上晴彦氏 (広島市中途失聴・難聴者協会 青年部部长)

参加費 文字通研会員1,000円、非会員1,500円

- 主催 特定非営利活動法人 全国文字通訳研究会 (略称・文字通研)
- 後援 みみより会、日本聴覚障害者コンピュータ協会、ろう・難聴教育研究会
- 申し込み方法と注意事項

- WebまたはFAXでお申し込みください。ご入金方法をお知らせしますので1月8日(金)までにご入金ください。(FAXにはお名前、ご連絡先をお書きください)
- 入金確認後、アクセス方法をお知らせします。
- ネット環境による切断やその他アプリの障害が起きた場合には、責任を負いかねます。
- 主催者都合によるイベント中止以外のいかなる場合にも参加費はお返しできませんのでご了承ください。

画面イメージ (手話通訳・文字通訳つき)



申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 全国文字通訳研究会
ホームページ <http://mojitsuken.sakura.ne.jp/wp/>
専用Fax. 020-4624-1608 (担当:丸山)



お申し込みはこちら



※NPO法人全国文字通訳研究会(略称 文字通研)は、聞こえに障害がある方への文字による情報保障はどうあるべきかを考える聴覚障害当事者を中心とした研究会です。